

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33103	ジェンダーと社会 Gender and society	中村 奈津子			2	選択	1.2後期

科目の概要

「ジェンダー（社会的・文化的な性差、性別）」および関連する諸概念を学び、自己理解・他者理解を深めます（DP②）。また、現代的な社会課題（セクシュアリティ、ライフスタイル、家族、労働、暴力など）をジェンダーの視点で捉え、当事者性をもって考察し、自立した社会人として組織や社会の課題解決に貢献できる力につなげます（DP③、DP④、DP⑥）。ディスカッションやグループワークをとおして理解・考察を深め、多様性が尊重される社会の形成に寄与する力を育てます（DP①、DP④）※文中の数字はディプロマポリシーを指す。

学修内容	到達目標
① 「ジェンダー」にかかわる諸概念（ジェンダー、セクシュアリティなど）を理解する。 ② ジェンダーを切り口に、自己理解と他者理解を深める。 ③ 現代的な社会課題を、ジェンダーの視点で捉え、理解する。 ④ 現代的な社会課題を、当事者性をもって仲間と共に考察する。 ⑤ 自立した自分の将来像を描く。	① 「ジェンダー」にかかわる諸概念を自分の言葉で説明することができる。（DP②） ② 自分と異なる経験・価値観を持った人とかわり、人間の多様性を認めることができる。（DP①、DP④） ③ 現代的な社会課題をジェンダーの視点で捉え、身近な問題について考察することができる。（DP③、DP⑥） ④ 個人の問題を社会化し、問題の解決へ向けた議論に参加することができる。（DP①、DP④） ⑤ 固定観念に捉われず、主体的にライフスタイルをデザインできる。（DP③、DP④）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	授業で扱うテーマについて関心を持ち、日頃から情報収集ができる。
	働きかけ力	
	実行力	提出物は、期限までに確実にやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	授業で扱うテーマを自分に引き付けて考えることができる。
	計画力	
	創造力	思い込みや固定観念に捉われず、柔軟で自由な考え方ができる。
チームで働く力	発信力	自分の考えを整理し、相手に伝わるように工夫して話すことができる。
	傾聴力	相手が言いたいことは何だろうかと考えながら聞くことができる。
	柔軟性	自分と異なる経験や価値観をもった他者を尊重し、受け入れることができる。
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキストは指定なし。配布資料を用いて授業を行う。参考文献は授業内で紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

<p>【事前学修】事前に共有する学習資料に目をおし、概要を捉えておく。資料中の分からない用語について、自分なりに図書館やインターネットなどを活用して調べておくこと。（各週2時間）</p> <p>【事後学習】関連資料（参考文献、関連するニュースなど）および教員からのフィードバックに目をおし、身近な事例をもとに学びを深める（各週2時間）。</p> <p>※ジェンダーにかかわる問題は、日ごろ「当たり前」と思っている常識や慣習の中に深く入りこんでいるので、自分の問題として気づき、考えることが大切です。性別や性について、身の回りで「当たり前」と思ってきたこと、思われていることに注目し、つねに「どうして？」と考える姿勢を大切にしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> コメントシートは、当日の授業のみ受け付ける。 ディスカッションやグループワークにおいて、参加者全員にとって実りある学びにするためには、初対面であっても、互いに目的を共有し、協力しようとする態度が欠かせません。自分にとっての「正しさ」に固執せず、他者の考えを否定せずに受け止められること、相手と異なる考えを率直に発信できる姿勢が求められます。ともに学びあう時間を作りましょう。
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	40	①	✓	評価内容：第8回および第15回授業にて、理解度を確認する小テスト（確認テスト）を実施し、40%の評価とする（20点満点×2回）。 論述問題に対する評価基準は以下のとおり (1) 指定した内容（テーマ、文字数）を充たしているか (2) 概念やキーワードを正しく使っているか (3) 自分の経験・考えに基づいた（当事者性のある）考察が書かれているか (4) 文章が一貫しており説得力があるか (5) 発展的に考察できているか
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		レポート	50	①	✓	評価内容：毎回の授業で提出していただくレポートに対し、5点/1回の評価点をつける。初回、第8回、第15回を除く12回の授業で60点満点とし、50%の評価とする。 評価基準は以下のとおり (1) 教員からの「問い」に答えているか (2) 授業内容を理解しているか (3) 授業内容に対し、当事者性をもって考えることができているか
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
		②				
		③				
		④				
		⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) 関心をもって情報収集ができたか (実行力) 提出物を期限までに確実にやり遂げることができたか (課題発見力) 日常の中から問題を捉えられたか (創造力) 思い込みや固定観念に捉われず、自由に考えられたか (発信力) 自分の考えを整理し、伝わりやすいよう工夫して話せたか (傾聴力) 相手の言いたいことを考えながら聞いたか (柔軟性) 自分と異なる意見や価値観を受け入れられたか (規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができたか	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) ジェンダーに関連する概念を理解し、常にジェンダー問題を身近なケースに引き付けて考えられるとともに、自ら集めた資料（データや文献）も用いながら、自分の意見を説得的に記述できる。</p> <p>A (優) ジェンダーに関連する概念を理解し、ジェンダー問題を身近なケースに引き付けて考えられるとともに、資料（データや文献）をもとに、自分の意見を説得的に記述できる。</p>	<p>B (良) ジェンダーに関連する基礎的な概念を理解し、ジェンダー問題について、資料（データや文献）をもとに、自分の意見を記述・発信できる。</p> <p>C(可) ジェンダーに関連する基礎的な概念をおおよそ理解し、ジェンダー問題について、自分なりの考えを記述・発信できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	【オリエンテーション】授業概要を理解するとともに、ジェンダーを学ぶ現代的意義を知り、自分なりの目標設定をする。	講義 ディスカッション レポートの執筆(評価対象外)	ジェンダーを学ぶ現代的意義を理解し、自分なりの目標設定ができる。	(復習)「ジェンダー」をキーワードにインターネットで関連情報を探し、どういったニュースが発信されているかを自分なりに把握する。 (予習)「ジェンダー」の定義をいくつか調べ、自分の言葉でまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
2	【ジェンダーとは何か】ジェンダーの定義・言葉が生まれた背景を学び、自己のジェンダーに関する認識を振り返る。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメント フィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 講義 ワークショップ レポートの執筆	「ジェンダー」の定義を、具体的な事例をあげて説明できる。	(復習)身近な人とジェンダーに関する認識について議論し、その差異を考察する。 (予習)事前に共有する学修資料に目をおし、不明点を整理しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
3	【多様な性(1)】SOGIとセクシュアリティを理解し、性の多様性への認識を深める。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメント フィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 講義 ディスカッション レポートの執筆	「SOGI」「セクシュアリティ」という概念を説明できる。	(復習)身近な人と性の多様性に関する認識について議論し、性の多様性が受容される社会へ向けた課題を考察する。 (予習)指定する文献を読み、これまでに学修した授業内容を振り返っておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
4	【多様な性(2)】映像資料から、性の多様性について考える。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメント フィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 DVD視聴 ディスカッション レポートの執筆	性の多様性が受容される社会へ向けた現状と課題を整理し、自分なりの考えを発信できる。	(復習)予習で読んだ文献を再読し、自分なりの気づき・意見をまとめる。 (予習)普段のコミュニケーションを振り返り、発見したことをまとめておく(モヤモヤすることをいくつか言語化しておく)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
5	【アサーティブネス】率直な自己表現について理解する。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメント フィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 講義 ワークショップ レポートの執筆	「アサーティブネス」を手がかりに、普段のコミュニケーションについて振り返り、言語化できる。	(復習)身近な人と日常のコミュニケーションについて議論し、より良いコミュニケーションのあり方について考察を深める。 (予習)学修資料に目をおし、「男女共同参画社会」へ向けた取り組みの流れを把握しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
6	【ジェンダー平等をめぐる歴史(1)】ジェンダー平等な社会=男女共同参画社会をめざす、国内外の動きを理解する。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメント フィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 講義 ディスカッション レポートの執筆	「女性差別撤廃条約」によって改善された日本の法制度をあげられる。	(復習)授業で指示する文献を読み、男女共同参画社会に向けた課題を理解する。 (予習)「フェミニズム」の定義をいくつか調べ、自分の言葉でまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
7	【ジェンダー平等をめぐる歴史(2)】ジェンダー概念が生まれた基盤としてのフェミニズムを理解する。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメント フィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 講義 ディスカッション レポートの執筆	「フェミニズム」の意義を説明できる。	(復習)授業で指示する関連情報(ニュース、文献)を読み、その内容について自分なりの気づき・意見をまとめる。 (予習)第1回～第7回の授業資料を振り返り、自分なりに理解度を確認しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
8	【前半講義まとめ・確認テスト①】前半の講義のまとめと振り返り、および小テスト(確認テスト・1回目)を実施する。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメント フィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 講義 確認テスト①	確認テスト①において60%以上の評価を得るとともに、これまでの授業内容に対する自分の理解度と課題を把握できる。	(復習)確認テスト①の内容を振り返り、理解度が不足している部分(自分の課題)について学修する。 (予習)学修資料に目をおし、「結婚」「家族」にまつわる身近な情報を探し、ジェンダーの視点で考察してみる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	【家族とジェンダー(1)】パートナーシップ・結婚・家族の変化について学び、考察する。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメントフィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 講義 ディスカッション レポートの執筆	「近代家族」の特徴をあげられる。	(復習)授業で指示する関連情報(ニュース、文献)を読み、その内容について自分なりの気づき・意見をまとめる。 (予習)学修資料に目をとおり、「同性婚」をめぐる動きについて自分なりに調べてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	【家族とジェンダー(2)】同性婚・性役割の変化など、家族をめぐる社会の動きについて資料をもとに考える。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメントフィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する 講義 ディスカッション レポートの執筆	家族をめぐる社会の動きについて、資料をもとに自分なりの意見を発信できる。	(復習)授業で指示する関連情報(ニュース、文献)を読み、その内容について自分なりの気づき・意見をまとめる。 (予習)学修資料に目をとおり、労働をめぐる問題について身近なケース(家族の働き方・アルバイトなど)をもとに考察する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
11	【労働とジェンダー(1)】労働に関連する法制度と、現代社会の労働問題を学ぶ。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメントフィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 パソコンを使った情報検索 レポートの執筆	身近な仕事(自身のアルバイト、家族の働き方など)を、労働法を参照して振り返ることができる。	(復習)授業で指示する関連情報(ニュース、文献)を読み、その内容について自分なりの気づき・意見をまとめる。 (予習)最新の「男女共同参画白書」(内閣府男女共同参画局作成)から、労働に関する部分を読み、発見したことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
12	【労働とジェンダー(2)】「働くこと」について考える。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメントフィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 ワークショップ レポートの執筆	職業選択を含め、自分のライフスタイルについての展望を確認する。	(復習)「働くこと」について身近な人とさらに議論し、自分のライフスタイルについての展望を具体的に描けるようにする。 (予習)セクシュアルハラスメントガイドラインを読み、内容を理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	【ハラスメント】職場や学校における、ジェンダーに由来するさまざまなハラスメントを知る。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメントフィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 講義 ディスカッション レポートの執筆	ハラスメントのポイントを理解し、対処法が分かる。	(復習)授業で指示する関連情報(ニュース、文献)を読み、その内容について自分なりの気づき・意見をまとめる。 (予習)学修資料に目をとおり、「DV」「デートDV」についてどういった啓発資料があるか調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	【暴力とジェンダー】親密な関係において起こりうる暴力(DV、デートDV)を理解する。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメントフィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 講義 ディスカッション レポートの執筆	DVやデートDVの構造を理解し、対応策を考えられる。	(復習)授業で指示する関連情報(ニュース、文献)を読み、その内容について自分なりの気づき・意見をまとめる。 (予習)今までの学修資料に目をとおり、自分の身の回りのニュース・情報をジェンダーの視点から検討してみる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15	【後半講義まとめ・確認テスト②】後半の講義のまとめと振り返り、および小テスト(確認テスト・2回目)を実施する。	教員からのフィードバック(復習及び質問への回答)※コメントフィードバックはGoogle Classroomにて事前に共有する。 講義 確認テスト②	確認テスト②において60%以上の評価を得るとともに、これまでの授業内容に対する自分の理解度や改善点を把握できる。	(復習)これまでに学んだことを振り返り、より良い自己の形成と生涯学習の視点をもって学修の成果と課題を整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力